

柏市立図書館の運営理念

社会環境が著しく変化している中で、市民が自らの問題を自ら考え、意思決定していくために“知識”“情報”を入手する必要がますます高まっています。

そこで、柏市立図書館は、市民が必要とする資料や情報を迅速かつ確実に提供するために、次の三つの柱を運営理念として掲げます。

- ・ だれでも、いつでも、どこでも利用できる図書館をめざします。
- ・ 市民のくらしと仕事を支援し、まちづくりに役立つ図書館をめざします。
- ・ 「図書館の自由に関する宣言」¹に基づいた図書館をめざします。

これらを実現するために、職員の専門的能力を高め、市民に信頼されるサービスを行います。また、運営についての情報も積極的に公開し、市民と行政が協力し合う図書館をつくっていきます。

1 図書館の自由に関する宣言

日本図書館協会 1954 採択, 1979 改訂

「図書館は、基本的人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することをもっとも重要な任務とする。この任務を果たすため、図書館は次のことを確認し実践する。

- 第1** 図書館は資料収集の自由を有する
- 第2** 図書館は資料提供の自由を有する
- 第3** 図書館は利用者の秘密を守る
- 第4** 図書館はすべての検閲に反対する
- 第5** 図書館の自由が侵されるとき、われわれは団結して、あくまで自由を守る

柏市立図書館の運営方針

柏市では「みんなでつくる 安心, 希望, 支え合いのまち 柏」を将来都市像とした『柏市第四次総合計画』を策定し, その中で, 柏市立図書館は, 生涯学習の拠点として位置づけられています。“市民の求める情報を確実に提供する”という基本的な図書館の機能にとどまらず, 柏市としての魅力“柏市らしさ”を創出する手助け, また, 子育て支援機能の役割を担うことも求められています。

さらに, これからの図書館は, 市民が自ら考え判断できるように, さまざまな情報の提供を行っていくことがこれまで以上に必要となります。また, 市民と市政をつなぎ, 豊かなまちづくりに役立つ最新の情報を常に発信していくことが求められています。

このようなことから, 柏市立図書館は, 前頁の運営理念のもとに, 次のことを運営方針として掲げ, その実現・具体化・充実に努めます。

- 1 市民の“知る権利”を守り, その必要とするあらゆる情報を提供していきます。
- 2 子どもたちの豊かな心と生きる力を育み, また高齢者が豊かに暮らせるように支援します。
- 3 図書館の利用が困難なかたを含め, あらゆる市民が利用できるよう, 支援します。
- 4 柏市が“活力に溢れるまち”であり続けられるよう, 社会の中核を担う勤労者の仕事に役立つ資料を揃え, 市民の就業・起業などを支援します。
- 5 市内小・中・高校図書館及び大学図書館, また, 県内各図書館や関連機関と連携し, 資料・情報を提供するとともに, 市民の享受できる図書館サービスの充実に努めていきます。
- 6 市民の市政参画を積極的に支援し, 併せて行政に対し調査・研究及び政策立案の支援を行うことで市政の活性化の一端を担っていきます。
- 7 人間がより良く生きていくことに図書館は必ず役に立つという図書館の存在意義を信じ, 図書館員は市民の要求に応えるため, その専門性を高めるよう, 不断の研鑽を行います。
- 8 市民と共にある図書館であり続けるため情報公開を進めていきます。また, ボランティアの育成等を通じて市民参画を推進し, 市民との協働による図書館運営を行います。